

ご存知ですか?  
新しい  
大腸の検査法

# 大腸CT検査の ご紹介

監修：国立がん研究センター中央病院 放射線診断科医長 飯沼 元先生

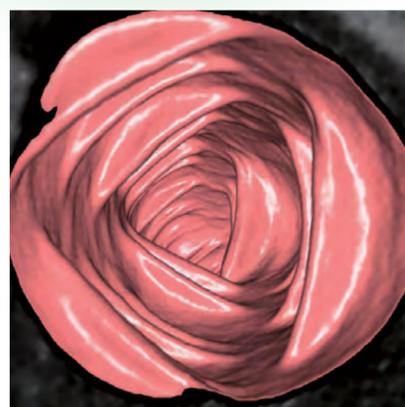
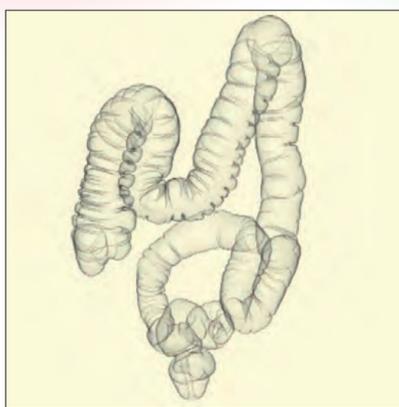
## 大腸CT(CTコロノグラフィ)とは?

炭酸ガスを肛門から注入し、拡張させた大腸をCT装置で3次元診断する検査です。

大腸にチューブを深く挿入しないため、腸管内部を傷ついたり、痛みを感じる事が少ない。

大腸の立体的な3次元画像を作成できるため、異常を発見しやすい。

体内に吸収されやすい炭酸ガスを用いるため、検査後の不快感が少ない。



※妊婦または妊娠している可能性のある方は受けることができません。

大腸癌などの大腸の病気は、早期発見がとても大切です。  
大腸CT(CTコロノグラフィ)は、大腸の病気の早期発見につながる検査として、近年注目されています。



## ●大腸CT(CTコロノグラフィ)検査の流れ

### 【検査前の処置(前処置)】

大腸内を検査しやすくするため、検査食や下剤を用いて大腸内をきれいにします。

### 【検査】

#### ① 検査前



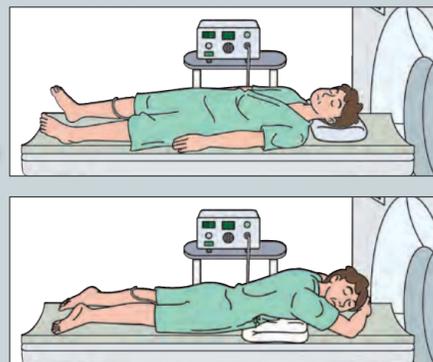
トイレに行き、検査に備えます。

#### ② 炭酸ガスで大腸を拡張



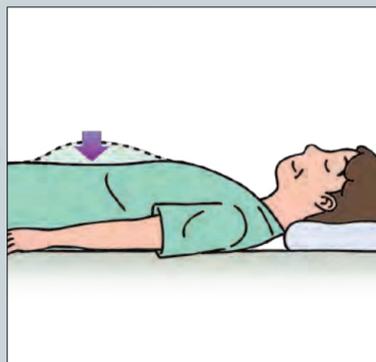
肛門に細いチューブを挿入し、大腸へ炭酸ガスを注入します。

#### ③ CT撮影(仰向け・うつ伏せ)



仰向け、うつ伏せの状態それぞれ撮影します。1回の撮影時間は10秒程度です。

#### ④ 検査終了



炭酸ガスは空気に比べて速やかに体内へ吸収されるため、検査後の不快感が軽減されます。

※造影剤を使用する場合があります。

詳しくは、当院スタッフにお気軽にお問い合わせください